

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール枚方長尾			
○保護者評価実施期間	2025年10月15日 ~ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	34	(回答者数)	25	
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ~ 2025年10月31日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8	(回答者数)	8	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応をしたセッションプログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> セッション後の保護者様との振り返りの中で、出てきた課題や園・家庭内でのお話を聞きながら、必要なことをブログに取り入れている。 一人ひとりの興味関心のある事と、課題を組み合わせて完全オーダーメイドのプログラムの作成 園へ直接訪問し、集団生活の中でみつけた生活に則した活動の導入 生活リズムや睡眠リズムの調整のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 社内研修や指導員一人ひとりのスキルアップをしていくとともに、職員同士で意見を交換しながら必要活動を必要な時に取り入れられるようにしていく。 継続してカンファレンス時に一人ひとりのお子様について考える時間を十分にとる。 社内独自の眠育アドバイザーからの助言を行い、各家庭に沿って生活リズムの改善を進めていけるようにする。
2	職員間のチーム力の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 勤務体制が異なる中でも、一人ひとりがお子様への意識を高め、必要な情報を共有し療育がつながるようにしている。 担任制ではないため、いろいろな職員が担当することでたくさんの視点でお子様の様子を見ることが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務体制が異なる中で、情報共有をしっかりと行うようにし、それぞれの意識を高めていく。 スクール内研修やカンファレンスを通じ、一人ひとりのお子様の療育の方向性を合わせられるようにしていく。 互いの意見や思いを伝えあい、より良い関係性を築いてい。
3	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の思いや考えをしっかりと受け止め、共感する姿勢を職員一人ひとりが大切にし、信頼関係を築けるようにしている。 年長児の保護者様の就学に向けた不安に対して、卒園児の保護者に来てもらい、お話を聞き、不安の軽減を目指した。 保護者の方も子どもたちも、家や園とは別のもう一つの「居場所」となれるように、温かい雰囲気づくりと気持ちのサポートを心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の思いの共感だけでなく、必要なことを丁寧に伝えながら、よりよい関係性を築けるようにしていく。 年長児の保護者様だけでなく、通所している保護者様全体が参加できるような保護者会を開き、それぞれの悩みや不安を話せる場を作つてみる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間の制限	<ul style="list-style-type: none"> 30分という療育時間や週に1~2回の利用のお子様も多いため、出来ることに限りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 30分の中でもつながりのある活動内容を取り入れていく。 保護者の方にも協力してもらしながら、継続した支援が出来るように、お休みをした場合は振替等を行つてもらえるように伝えていく。
2	就学後のサポート	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援のため、就学後の様子やサポートをすることが難しい。 直接、就学先との連携を取ることが出来ていない（保護者様を通してサポートブックの貸し出しや文書の提出などを実施している。） 	<ul style="list-style-type: none"> 就学後の不安を感じる保護者の方も多いので、就学先や通園している園と連携しながら情報の共有をする機会を作るようにしていく。また、必要な応じてお子様の様子や配慮事項をまとめた文書の作成が出来ることを保護者へ伝えていく。 必要な情報を保護者にフィードバックしていくことで、就学までのサポートを丁寧に行っていく。